

事業実施報告書

事業名 地域支え合い事業「幸せ手伝い隊」

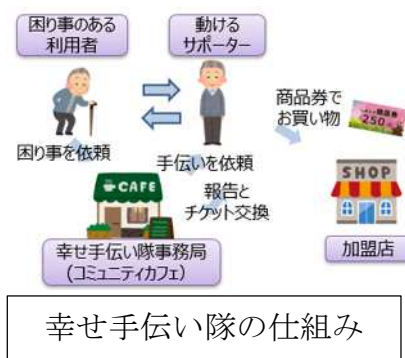
1 事業の目的

高齢者の社会参加の機会をひろげ、生きがいづくりに貢献するとともに、困り事のある高齢者、及びケアラーに対する支援の充実を図ります。

2 事業内容

(1) 事業の概要

- 地域支え合い事業「幸せ手伝い隊」とは、高齢者や障がい者などが日常生活で困っている事を、元気な高齢者などがお手伝いを行い、利用者からお礼として30分毎に250円の地域商品券をもらえる仕組みです。しかし、利用者になってから登録する人が多く、元気なうちにお手伝いをして下さる方が少ないため支え合いのバランスが取れないことが問題点となっています。



- 地域支え合いは会員同士の支え合いとしているため、サポーターも利用者も入会金を徴収していましたが、たくさんの方にサポーターとしてご活躍してもらい、生きがいづくりを促進するために令和6年度からはサポーターの入会金を無料に変更し、更にサポーターとして10回以上活躍した場合は、ご自身が利用者となった時に入会金を免除することでサポーターとしての活動を促しました。



- 会員証にも10回の活動を目指して頂けるようにスタンプカードのような会員証を作成しました。



- 「幸せ手伝い隊」ではゴミ出しなどの10分以内のできる屋外のお手伝いを“ちょっぴりサポート”5回で700円と、日常生活の一般的なチケットと分けています。

項目	内容
利用料	250円
手数料	0円
その他	0円
合計	250円

主なちょっぴりサポート内容はゴミ出しで、近年需要が大変高まっています。

(2) 事業の流れ

- 2025年10月4日(土)、5日(日)に高齢化率の高い幸手団地において幸せ手伝い隊イベント「しあわせ歌謡祭」、「世界ダンス巡り」を開催し、両日多くの高齢者の方々に参加していただき、そこで幸せ手伝い隊の告知を行いました。



10月4日の来場者は約300名
素人参加のカラオケを中心に実施
幸手市長もご来場くださいました。



10月5日の来場者は約400名
キッズダンスや様々な国の踊りを披露
サンバカーニバルは隣接小学校から
パレードを行って集客促進を図った。



- 幸せ手伝い隊説明会の開催
従来の説明会だと来場者が少ないため
来場しやすいよう出張コミュニティカフェとして開催
地元のバンドなどによるミニコンサートも一緒に実施
コンサートを目的に来場する方が多かった。



1回分、日程が地域のイベントと重なったため中止。

10月12日 南公民館 参加者7名
10月19日 中央公民館 参加者4名
11月2日 コミュニティセンター
参加者13名



- 2025年9月1日発行の幸手市広報誌への折り込みの許可を得ることが出来た為、イベント告知チラシを全戸配布する枚数に変更。21,000枚折り込み配布。



- 2025年9月15日地域新聞「アットホームニュース」へ説明会イベント案内掲載
- 2026年1月1日地域新聞「アットホームニュース」に幸せ手伝い隊サポーター入会金記事の掲載



- 2026年2月幸せ手伝い隊サポーターへ状況確認往復はがきの作成発送。説明会への招待状を出す予定だったが、住所の入力作業が間に合わず、期間を絞らずにサポーターとしての活動確認連絡へ変更。
- 2026年2月幸せのしおり修正製作。昨年分の増刷をするだけの予定だったが、昨年の在庫残があり、修正箇所が訂正及び新たな情報（電話リレーサービス等）4ページ分増やして500部製作。
- 幸手市内で同じように生活支援を行っている社会福祉協議会の「桜ふれあいサービス」が令和7年より料金を1時間700円から1050円に値上げしたため、幸せ手伝い隊も同様に来年度価格変更を行うよう検討し、手伝い券及び商品券の作成を中断。
- 当初予定していたAmazonHUBは担当者と協議を重ねた結果断念。
理由：配達員それぞれがアカウントを持つ必要性
登録するのにアカウントとパスワードも伝えなければならない

(3) 連携・協力機関

幸手市社会福祉協議会、幸手市役所、幸手警察、幸手ひまわり幼稚園など

3 成果及び今後の展開

- ・ 活動できるサポーターが減少傾向であったが、昨年からのサポーター入会金無料化によりサポーターがわずかに増え支え合いの仕組みを維持することが出来た。
- ・ ちょっぴりサポートのゴミ出しの依頼が増えており、高齢化の深刻さを実感する。中学生以上の子どもや、外国人によるお手伝いがわずかながら始まった。今後さらに増やしていかなければならないと感じる。
- ・ 男性の居場所づくりとして幸せ手伝い隊の受付拠点をバーチャルオフィスとして常設し、その場所で男性に会社に出勤するように常駐していただき、幸せ手伝い隊の電話受付を担っていただく。そして、自分で出来る内容であれば直ぐに出動していただくことで依頼から手伝いまでのタイムラグを無くす。

こうした利便性の向上により手伝いの依頼が増えること期待するとともに、男性の活躍の場を増やしていきたいと考えております。